

修学旅行、社会科見学の特別料金にて鑑賞された 中学 2 年生の感想文です。(原文まま)

### 相撲を見に行つて

僕は相撲に全くと言っても過言ではないぐらいに興味がなかった。なので NHK で相撲がやってもまったく見たことがなかった。有名な力士ぐらいは知っていたが、相撲を見に行くとなると聞いてかなり驚いた。決まり手などと言われた際にはなんだそれはと首をかしげていた。また相撲を見に行くのは本校でもこの学年が初めてだと聞き、もし問題を起こしたら大変だという恐怖心もあった。

僕はあつけにとられた。学校で相撲健康体操をやった際に力士が全員股割りができると聞いたときのように。僕は正直言うと、いや言うまでもなく相撲をあまく見ていた。相撲を見るならテレビの方が絶対に見やすいだろうと思っていた。たしかにテレビの方が大きく見えるし見やすかっただろう。僕が言いたいのはそうじゃない。直に相撲というものを自分の目で見ているということに感動したのである。やはり生というものはなんでも違うのだろうか。最近では生ラムネなどの商品名に生がついているものもある。それはあんまり関係がないが、初めて相撲を見て感じたのは、国技館がとにかく大きい。外から見ると分にはあまり大きいようには見えなかった。そしてもう一つ感じたのは、見ても全くあきないことだ。ずっと見てたらあきるだろうと思ったが、むしろ楽しくてしかたなかった。力士の名を叫び、応援するのは、まるで自分も参加しているかのような臨場感を覚えた。また機会があれば見に行つてみたいと思った。

### 大相撲取組見学

僕ははじめ、相撲には全く興味なかった。長ったらしくて四股を踏んで時間がかかるのに、あつけなく勝負が終わるのを見ると、いつもテレビのチャンネルを変えてしまっていた。しかし、今回の見学、事前学習を通して興味をもったことがいくつかあった。

一つ目は、力士はただ太っているだけではないということである。事前学習で相撲健康体操をやって、自分の股関節の固さと力士の股関節の柔らかさを思い知った。また、力士を近くで見た時の筋肉の量が半端じゃなかった。ちゃんと努力をして鍛錬された体で相撲をとっているところが感心できた。

二つ目は、テレビと肉眼で見ることにあつては、歴然とした違いがあつた。まず第一に迫力が違つた。四股踏みと塩まきを生で見てから見る相撲は国技館の喚声との一体感で一味違つた。

しかし、四股を踏む時に国技館が揺れるのかと思つたが、そんなことは全くなかつた。そこは少しがっかりした。

三つ目は、一人でテレビを見るのとみんなで目をこらして見るのが全然違つたということである。一生懸命見るということと、みんなが集中して見るという一体感から、なんとも言えない臨場感ができるのである。また、全力で見るから途中で顔をふきに戻ったり塩をまくために戻ったりすることが、途中の目の休みにあつて丁度いい感じで取組を見ることができるのである。

こんな感じで、僕の相撲の価値観は一変したのである。